

Japanese Original-Plakate und Texte zur Mobilisierung der Vorführungen des Films
„Unser gemeinsamer Widerstand“ am 13. Feb. 2014 in Kyoto und am 16. Feb. 2014 in Tokio.
Diese erste erfolgreiche Auslands-Premiere zeigt, dass der Film in jeder Sprache gezeigt werden kann und sollte.

日本社会教育学会

ミヒヤエル・ヴェント氏を招いての研究集会

脱原発社会をめざす市民の運動と学習

第1回 映画上映と討論

フクシマ 3.11 後ハンブルク市民が製作した反原発運動のドキュメント

上映
映画

我々の共同抵抗

2月16日
15:00~17:30

映画に関する説明と提起：ミヒヤエル・ヴェント (Michael Wendt)

(ドイツ・ハンブルク市・アルトナ区オッテンゼン地区文化センター館長)

コメンテーター： 高橋 満 (東北大学)

モデレーター： 谷 和明 (東京外国語大学)

プログラム

14:30 開場
15:00 上映開始
(75分間)
16:30 討論
17:30 終了
終了後懇親会を予定
しています

日時：2014年2月16日 午後3時00分~5時30分

会場：東京外国語大学留学生日本語教育センター棟1F
さくらホール

このスリリングなドキュメンタリー映画は、ヴィール、ゴアレーベン、グローンデ、ブロックドルフ、ヴァッカーズドルフ等での反原発運動の多様な抵抗形態を漏らさず提示することをめざした初めての試みである。

映画では、これまで紹介されなかった反対運動のシーンを見ることができる。それらは歴史において埋葬されることなく、影響を与え続けるべきものである！

市民運動「アルトナ博物館を残せ！」は1年間にわたって反原発問題を展示プロジェクトとして取り組んできた。映画を製作したのは、フクシマ 3.11 をきっかけに運動体内部で結成された独自のビデオグループである。

会場へのアクセス

〒183-8534 東京都府中市朝日町 3-11-1

①JR中央線「武蔵境」駅にて西武多摩川線にのりかえ「多磨」駅下車、徒歩5分。

②京王新宿線「飛田給」駅下車。北口より多磨駅行き京王バスにて約10分「東京外国語大学前」下車。

詳細は以下を参照ください。 <http://www.tufs.ac.jp/access/> および <http://www.tufs.ac.jp/abouttufs/campusmap.html>